

京都の救急医療を支える

高規格救急車

クラウドファンディング

2026年

5月20日スタート



当会の中核病院であり救命救急センターの指定を受けている洛和会音羽病院に新たに救急車を導入するため、当会4つの病院が協力してクラウドファンディングを実施します。

洛和会ヘルスケアシステムの病院では、救急専門医を中心に、内科医・外科医、看護師、医療技術者などが連携し

“24時間365日”救急医療体制を整えており、

当会で救急医療を担う洛和会丸太町病院と洛和会音羽病院の

救急搬入件数を合わせると年間約11,000件にもおよび、

その件数は年々増加しています。

洛和会音羽病院の救急車は、導入から18年、走行距離10万kmを超え、**安全性・機能面から更新が必要な状況**です。

当院の救急車は**月約65件の転院搬送**を担っており、

もし消防救急車で代替すれば、地域の救急対応に影響が出る可能性があります。

救急車の整備には多額の費用が必要であり、医療現場の努力だけでは

対応しきれないのが現実です。救急車は、単なる車両ではありません。

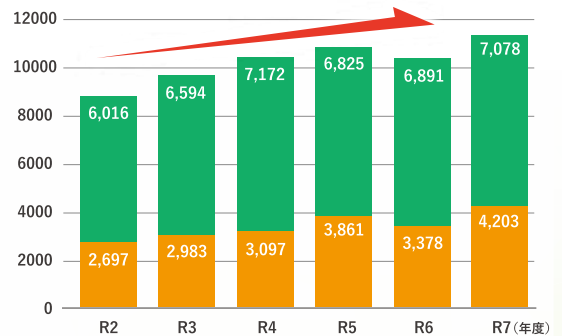
“命を運ぶ医療そのもの”であり、地域の未来を守る大切なインフラです。

皆さまからのご支援は、救急車の購入という形で、

確実に地域の命を救う力へと変わります。

多くの命が救われるための、何よりも直接的で大きな支援となります。

救急搬入件数（年度別） ■ 丸太町病院 ■ 音羽病院



洛和会丸太町病院

年間4,000件を超える救急搬送を受け入れ、手術件数も多く、救急と手術の両面で地域医療を支えています。



洛和会音羽病院

高度急性期医療を担う洛和会の中核病院。重症患者の受け入れ体制を維持し、年間約7,000件の救急搬送を受け入れています。



洛和会音羽記念病院

腎疾患に特化し、特にシャント手術において全国有数の実績有。安全性を重視した治療の提供を通じて地域医療を支えています。



洛和会音羽リハビリテーション病院

回復期医療を担い、急性期病院からの受け皿として重要な役割を果たしています。訪問診療など地域連携機能の強化にも注力しています。

地域の命を守る救急医療を続けるため、新しい救急車の導入にご支援をお願いいたします。